

# 新年あけましておめでとうございます

令和5年 冬号

## 倉敷老健通信

Vol. 31

令和5年1月15日発行  
倉敷老健  
倉敷市老松町4-3-38  
電話086-427-1111

### 【季節の行事】

クリスマスにはツリーを飾り、お正月には今年の干支『卯』を主体とした飾りを行い、ささやかではありますが季節の行事として入所者様に楽しんでいただきました。部屋の飾り付けなどで生活の中で少しでも入所者様に季節を感じて楽しんで頂けるよう工夫しています。ご家族の皆様におかれましても、穏やかな1年となりますように心よりお祈り申し上げます。



### 【シーティング】

シーティングとは、背中や臀部（座面）にクッションを入れて座った姿勢を整えることを言います。高齢になりお腹の力が弱くなると体が左右へ傾いたり、腰が滑った様な座り方になります。シーティングにより良い姿勢が保てることで疲労や背骨の変形を防止したり、食事動作の改善などの効果があります。個別の機能訓練だけでなく、生活場面でも十分に能力が発揮できるような環境整備も重要な援助の一つとなっています。

座面と背面の支え



お尻の前方へのずれ:座面

体の傾き:背面の支え



Before

After

Before

After

## 【専門職紹介 薬剤師編】

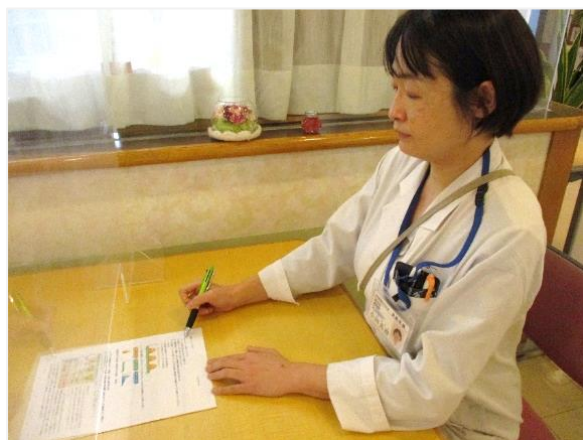
当施設には薬剤師が常勤・専従で1名配属されています。入所時に持参された薬の種類や調剤方法、服用時の留意点などの確認はもちろんですが、のみ忘れのお薬はないか確認したり、のみ難いお薬はないかなどご本人にもお話を伺いながら様々な検討をしていきます。どうしても高齢になると色々なご病気が重なり薬の種類や量が多くなります。



しかし、のみ合わせによっては双方の効能が十分に発揮されにくくなる場合や予期せぬ弊害を招くこともあります。また体調によっても量を調節する必要がありますので、血液データの確認や日々の生活状況、体調についても医師に報告しながら、薬の処方や減薬について検討しています。特に薬を変更した直後は、効果や副作用について十分に観察を行うよう努めています。

退所される時には、ご家族や施設職員の方に薬の内容や用法用量、服用時の注意点を説明をさせていただきます。

当施設の薬剤師は、『栄養サポートチーム専門療法士』や『糖尿病療養指導士』などの資格も持っており、幅広く他職種と連携しながらチーム医療に努めています。また、新薬などの新しい情報の提供や研修会の開催など、他職種の知識向上にも努めてくれています。



在宅において医師の指示と異なる服用をされていた場合には、入所時にその旨をお伝え頂けると助かります。

また、在宅生活の復帰に向けて「薬の服用回数が多くて大変」、「この時間は服薬介助できない」などご要望がありましたらお知らせください。

医師と相談し状況に応じた対応ができるよう検討させていただきます。

**気になる点があれば、お気軽にご相談下さい。**

動画用QRコード



**086-427-1111**



只今、施設内の見学はお断りさせて頂いております。施設での生活やリハビリの様子をYouTubeにて紹介させて頂いておりますので、是非ご覧ください。

**倉敷老健 相談員 滝澤まで**